

相模湾沿岸（天神島臨海自然教育園）で見られる生き物

3 天神島臨海自然教育園

自然環境の特徴

天神島・笠島は、ハマオモト(ハマユウ)の自然分布の北限地として神奈川県天然記念物に指定されているとともに、神奈川県生物多様性ホットスポットにも選ばれています。園内からは荒崎、伊豆大島、伊豆半島、箱根山、富士山、丹沢山地、江の島、笠島、長者ヶ崎までを一望することができます。また、教育園としての整備がされているため、観察に適しています。多種多様な植物・海洋動物が見られます。

植物

ハマオモト（ハマユウ）の自然分布の北限地として、県の天然記念物に指定されています。ハマオモト、ハマボウ、スカシユリ、ハマゴウ、ハマカンゾウなど多くの貴重な海岸植物が見られます。

ハマオモト（ハマユウ）



ハマボウ



スカシユリ



ハマゴウ



昆虫

砂浜では、海岸植物の上や砂の中で海岸性の昆虫が見られます。磯の水面でもウミアメンボの一種などが見られます。また、海岸樹林では林床の落ち葉の下などにも昆虫がいます。

ハマオモトヨトウ



ハマオモトヨトウ (幼虫)



ハマオモトヨトウ (卵)



ハマダンゴムシ (甲殻類)



ハマベハサミムシ



ウミアメンボの一種



水生生物

潮だまりには、海水とともに残されたマダコ、ホンヤドカリ、ハゼ類などが見られます。また、夏～秋には黒潮によって運ばれてくる南方のチョウチョウウオ類、スズメダイ類、ベラ類など色彩の美しい魚の稚魚がやってきます。

アゴハゼ



チョウチョウウオ (幼魚)



イナズマベラ (幼魚)



アオウミウシ



シロウミウシ

